



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月10日

上場会社名 株式会社ファルテック 上場取引所 東
 コード番号 7215 URL <https://www.faltec.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河井 芳浩
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務執行役員 (氏名) 篠田 好洋 TEL 044-520-0290
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	33,830	1.8	△693	—	△626	—	△1,190	—
2022年3月期第2四半期	33,239	18.3	607	—	768	—	121	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 1,138百万円 (△16.1%) 2022年3月期第2四半期 1,357百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	△126.94	—
2022年3月期第2四半期	12.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	70,184	22,375	28.1	2,103.71
2022年3月期	66,789	21,608	29.0	2,066.59

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 19,728百万円 2022年3月期 19,380百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	29.00	29.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	74,000	7.1	1,000	△29.9	800	△54.6	△400	—	△42.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 - 社（社名）、除外 - 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計上の見積りの変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	9,378,600株	2022年3月期	9,378,600株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	728株	2022年3月期	728株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	9,377,872株	2022年3月期2Q	9,377,882株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づいており、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計上の見積りの変更)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループを取り巻く経営環境は、世界的に半導体の供給不足が長期化していることに加え、原材料費やエネルギー費の高騰、ロシアのウクライナ侵攻や為替の急激な変動等により、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの属する自動車業界の概況も半導体供給不足の長期化によりグローバルで生産調整等が相次いで発生しております。

このような情勢の中、当第2四半期連結累計期間の売上高は、お客様の生産調整等の影響を受けたものの円安による為替影響により、33,830百万円（前年同期比1.8%増）となりました。

営業損失は、お客様の急激な生産変動に伴うロス及び原材料費やエネルギー費の高騰、日本セグメントでの為替影響に伴う輸入品の原価高や新車立上げにおけるロスの影響等により、693百万円（前年同期は607百万円の営業利益）となりました。

経常損失は、営業損失の影響により、626百万円（前年同期は768百万円の経常利益）となりました。

親会社株主に帰属する四半期純損失は、1,190百万円（前年同期は121百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

(日本)

売上高（セグメント間売上高を含まない）は、半導体供給不足の長期化によるお客様の生産調整等の影響により、24,730百万円（前年同期比4.3%減）となりました。セグメント損失は、売上高減及び原材料費やエネルギー費の高騰、為替影響に伴う輸入品の原価高や新車立上げにおけるロスの影響等により、272百万円（前年同期は969百万円のセグメント利益）となりました。

(アジア)

売上高（セグメント間売上高を含まない）は、上海ロックダウン影響があったものの新車立上げ効果に加え円安による為替影響もあり、5,914百万円（前年同期比17.0%増）となりました。セグメント利益は、原材料市況高騰の影響等あったものの売上高増の寄与により、552百万円（前年同期比4.3%増）となりました。

(北米他)

売上高（セグメント間売上高を含まない）は、半導体供給不足の長期化によるお客様の生産調整等の影響を受けたものの、前年同期の新型コロナウイルス感染症による影響からは回復、加えて円安による為替影響により、3,184百万円（前年同期比35.4%増）となりました。セグメント損失は、英国子会社でのロシアのウクライナ侵攻に伴うお客様の急激な生産変動影響、原材料市況高騰の影響、また構造改革に伴う一時的な費用を計上したこと等により、975百万円（前年同期は902百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は70,184百万円となり前連結会計年度末比で3,395百万円の増加となりました。このうち、流動資産は40,209百万円となり前連結会計年度末比で3,206百万円の増加となりました。流動資産の主な増加は、手元資金を多めに確保したことによる現金及び預金の増加2,807百万円、原材料及び貯蔵品の増加670百万円等であります。また、固定資産は29,975百万円となり前連結会計年度末比で189百万円の増加となりました。固定資産の主な増加は、新車立上げに伴う金型リース等のリース資産（純額）の増加420百万円等であります。

負債は47,809百万円となり前連結会計年度末比で2,628百万円の増加となりました。このうち、流動負債は30,580百万円となり前連結会計年度末比で2百万円の増加となりました。流動負債の主な増減は、1年内返済予定の長期借入金の増加1,092百万円、リース債務の増加258百万円の方、短期借入金の減少1,500百万円等であります。また、固定負債は17,229百万円となり前連結会計年度末比で2,625百万円の増加となりました。固定負債の主な増加は、長期借入金の増加2,625百万円等であります。

純資産は22,375百万円となり前連結会計年度末比で767百万円の増加となりました。純資産の主な増減は、円安が進んだことによる為替換算調整勘定の増加1,802百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失に伴う利益剰余金の減少1,190百万円等であります。

自己資本比率は、前連結会計年度末対比で0.9ポイント低下し28.1%となりました。なお、第1四半期連結会計期間末対比では、0.3ポイントの上昇となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）の残高は12,858百万円となり、前連結会計年度末比で2,579百万円の増加となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により獲得した資金は、1,245百万円（前年同期比936百万円の減少）となりました。主な資金の増加は、減価償却費2,131百万円、売上債権の減少918百万円等であります。主な資金の減少は、棚卸資産の増加761百万円、税金等調整前四半期純損失657百万円、仕入債務の減少650百万円等であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は、1,680百万円（前年同期比250百万円の減少）となりました。主な内訳は、有形及び無形固定資産の取得による支出1,373百万円等であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により獲得した資金は、2,430百万円（前年同期は1,069百万円の資金の使用）となりました。主な内訳は、長期借入れによる収入6,000百万円、長期借入金の返済による支出2,281百万円、短期借入金の純減少額1,500百万円等であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本日、2022年5月12日の「2022年3月期 決算短信」で公表致しました、2023年3月期の連結業績予想を修正しております。詳細は、本日公表致しました「2023年3月期 通期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,553	13,361
受取手形	349	264
売掛金	14,656	14,288
電子記録債権	1,007	996
商品及び製品	3,890	4,313
仕掛品	1,002	993
原材料及び貯蔵品	3,509	4,180
その他	2,035	1,812
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	37,003	40,209
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,070	10,325
機械装置及び運搬具(純額)	6,112	5,819
工具、器具及び備品(純額)	1,052	1,240
土地	6,500	6,553
リース資産(純額)	1,441	1,861
建設仮勘定	1,840	1,123
有形固定資産合計	27,018	26,924
無形固定資産	1,024	1,117
投資その他の資産		
投資有価証券	292	277
繰延税金資産	1,040	1,131
その他	416	530
貸倒引当金	△6	△6
投資その他の資産合計	1,742	1,932
固定資産合計	29,785	29,975
資産合計	66,789	70,184

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,740	6,547
電子記録債務	4,226	3,987
短期借入金	9,000	7,500
1年内返済予定の長期借入金	4,563	5,656
リース債務	1,088	1,346
未払法人税等	375	404
賞与引当金	846	779
その他	3,735	4,357
流動負債合計	30,577	30,580
固定負債		
長期借入金	8,818	11,443
リース債務	508	719
退職給付に係る負債	3,836	3,586
再評価に係る繰延税金負債	1,007	1,007
その他	432	472
固定負債合計	14,603	17,229
負債合計	45,181	47,809
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,291	2,291
資本剰余金	609	337
利益剰余金	13,360	12,170
自己株式	△0	△0
株主資本合計	16,260	14,797
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	62	73
土地再評価差額金	2,040	2,040
為替換算調整勘定	1,487	3,290
退職給付に係る調整累計額	△471	△474
その他の包括利益累計額合計	3,119	4,930
非支配株主持分	2,227	2,647
純資産合計	21,608	22,375
負債純資産合計	66,789	70,184

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	33,239	33,830
売上原価	28,048	29,875
売上総利益	5,190	3,955
販売費及び一般管理費	4,582	4,648
営業利益又は営業損失(△)	607	△693
営業外収益		
受取利息	29	47
受取配当金	6	8
助成金収入	168	162
補助金収入	—	44
その他	73	64
営業外収益合計	278	327
営業外費用		
支払利息	55	58
為替差損	25	127
持分法による投資損失	15	31
その他	21	43
営業外費用合計	117	260
経常利益又は経常損失(△)	768	△626
特別損失		
固定資産除売却損	28	30
特別損失合計	28	30
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	740	△657
法人税等	501	310
四半期純利益又は四半期純損失(△)	238	△967
非支配株主に帰属する四半期純利益	117	222
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	121	△1,190

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	238	△967
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2	10
為替換算調整勘定	1,133	2,098
退職給付に係る調整額	△12	△2
その他の包括利益合計	1,118	2,106
四半期包括利益	1,357	1,138
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,117	620
非支配株主に係る四半期包括利益	240	518

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	740	△657
減価償却費	1,917	2,131
賞与引当金の増減額(△は減少)	△283	△75
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△326	△340
受取利息及び受取配当金	△36	△56
支払利息	55	58
持分法による投資損益(△は益)	15	31
固定資産除売却損益(△は益)	28	30
助成金収入	△168	△162
売上債権の増減額(△は増加)	4,283	918
棚卸資産の増減額(△は増加)	△788	△761
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,198	△650
その他	△656	621
小計	2,582	1,088
利息及び配当金の受取額	45	56
利息の支払額	△54	△57
助成金の受取額	139	181
法人税等の支払額	△531	△401
法人税等の還付額	—	378
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,182	1,245
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	—	△182
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,923	△1,373
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
長期前払費用の取得による支出	△7	△34
その他	0	△90
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,931	△1,680
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,469	△1,500
長期借入れによる収入	3,500	6,000
長期借入金の返済による支出	△2,336	△2,281
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△524	△718
セール・アンド・リースバックによる収入	278	1,202
配当金の支払額	△271	△271
非支配株主への配当金の支払額	△245	—
その他	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,069	2,430
現金及び現金同等物に係る換算差額	276	584
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△541	2,579
現金及び現金同等物の期首残高	12,710	10,279
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,168	12,858

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

(退職給付に係る会計処理の数理計算上の差異の費用処理年数の変更)

当社及び連結子会社である㈱アルティアにおける退職給付に係る会計処理の数理計算上の差異の費用処理年数について、従来、従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数として10年で費用処理しておりましたが、平均残存勤務期間がこれを下回ったため、第1四半期連結会計期間より費用処理年数を9年に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北米他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	25,832	5,053	2,352	33,239	—	33,239
セグメント間の内部売上高 又は振替高	450	31	—	481	△481	—
計	26,283	5,084	2,352	33,721	△481	33,239
セグメント利益又は損失 (△)	969	529	△902	595	11	607

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北米他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	24,730	5,914	3,184	33,830	—	33,830
セグメント間の内部売上高 又は振替高	406	195	0	602	△602	—
計	25,137	6,110	3,185	34,432	△602	33,830
セグメント利益又は損失 (△)	△272	552	△975	△695	2	△693

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。